

文京 高等学校 令和7年度(2学年用) 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～I組

使用教科書：(実教出版『詳細公共』)

教科 公民 の目標： 社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す

【知識及び技能】 現代の諸課題についての基礎的な概念や理論を理解し、資料活用能力を高めることで社会とのつながりを意識した「生きる力」を高める。

【思考力、判断力、表現力等】 「幸福、正義、公正」の観点から合意形成を行う基礎的な力を養い、持続可能な社会づくりに主体的に関わる態度や自覚を涵養する。

【学びに向かう力、人間性等】 「1人1台端末」を活用し、自らの問題意識を探究することで社会的事象等を多角的、多面的に考え、学び続ける力を育む。

科目 公共 の目標： 人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の社会における諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、グラフ、表、ニュース記事などの諸資料から、主体的に活動するために必要な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論することができる。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題に関心を持ち、その諸課題を、現代社会に生きる人間が公共的な空間に生き国民権を担う公民として、主体的に解決しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1部 公共のとびら 第1章 公共的な空間をつくる私たち—社会のなかの自己 【知識及び技能】 ・人間のあり方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人間のあり方について、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人間のあり方について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究する。	〈 指導項目 〉 ①青年期と自己形成の課題 ②自己形成と社会への参画 ③個人として尊重される人間 ④社会的な存在としての人間 ⑤伝統・文化のなかの人間  〈 教材 〉 教科書、公共ワークノート、 プリント、タブレット	【知識・技能】 ・青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について理解する。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。				5
第1部 第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方 【知識及び技能】 ・功利主義や義務論などの考え方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・功利主義や義務論などの考え方を活用し、生命倫理や環境倫理について多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代の諸課題について主体的に追究する。	〈 指導項目 〉 ①功利主義と幸福の原理 ②義務論と公正の原理 ③生命倫理について考える ④環境倫理について考える  〈 教材 〉 教科書、公共ワークノート、 プリント、タブレット	【知識・技能】 ・現代の諸課題について判断し選択する際の手掛かりとなる功利主義や義務論などの考え方について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・現代の諸課題について判断し選択する際の手掛かりとなる功利主義や義務論などの考え方を活用して、生命倫理や環境倫理について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・功利主義や義務論などの考え方を活用して、現代の諸課題について主体的に追究している。				4
定期考査						1
1学期 第1部 第3章 公共的な空間における基本的原理—私たちの民主的な社会 【知識及び技能】 ・民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義とそれらを実現する上での課題について、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義とそれらを実現する上での課題について、主体的に追究する。	〈 指導項目 〉 ①公共的な空間における協働とは ②民主主義とは ③立憲主義とは ④人権保障の意義と展開  〈 教材 〉 教科書、公共ワークノート、 プリント、タブレット	【知識・技能】 ・公共的な空間における基本的原理である民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・公共的な空間における基本的原理である民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義とそれらを実現する上での課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・公共的な空間における基本的原理である、民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義とそれらを実現する上での課題について、主体的に追究している。				4
第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち 【知識及び技能】 ・政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割等について、民主政治の実現の観点から理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割等について、民主政治の実現の観点から多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割等について、民主政治の実現の観点から主体的に追究する。	〈 指導項目 〉 ①民主政治と政治参加 ②私たちの民主政治 ③地方自治のしくみと役割 ④国会のしくみと役割 ⑤内閣のしくみと役割 ⑥政治参加と選挙 ⑦政党と利益集団 ⑧メディアと世論  〈 教材 〉 教科書、公共ワークノート、 プリント、タブレット	【知識・技能】 ・政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論について、民主政治の実現の観点から理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論、政治のしくみや運用にかかわる課題について、民主政治の実現の観点から多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論、政治のしくみや運用にかかわる課題について、民主政治の実現の観点から主体的に追究している。				8
定期考査						1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学 期	第2部 第2章 法の働きと私たち 【知識及び技能】 ・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任などについて、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任などについて、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任などについて、主体的に追究する。	〈 指導項目 〉 ①法や規範の意義と役割 ②法と社会規範の役割 ③法の成立と適用 ④現代の市民生活における私法の役割と意義 ⑤市民生活と法 ⑥多様な契約 ⑦消費者の権利と責任 ⑧国民の司法参加 ⑨司法のしくみと役割 ⑩刑事司法と司法参加の意義  〈 教材 〉 教科書、公共ワークノート、プリント、タブレット	【知識・技能】 ・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、主体的に追究している。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	第2部 第3章 経済社会で生きる私たち 【知識及び技能】 ・経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、社会保障の考え方と課題などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、社会保障の考え方と課題などについて、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、社会保障の考え方と課題などについて、主体的に追究する。	〈 指導事項 〉 ①現代の経済と市場 ②私たちと経済 ③市場経済のしくみ ④国民所得と経済成長 ⑤市場経済における金融の働き ⑥金融のしくみと働き ⑦中央銀行の役割と金融環境の変化 ⑧財政の役割と持続可能な社会保障制度 ⑨財政の働き ⑩財政の課題 ⑪社会保障の考え方 ⑫社会保障の課題とこれから  〈 教材 〉 教科書、公共ワークノート、プリント、タブレット	【知識・技能】 ・経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、主体的に追究している。	○	○	○	12
	第2部 第4章 私たちの職業生活 【知識及び技能】 ・働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、多様化するキャリアの選択とキャリア形成の課題、資本主義社会における労働契約、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化と現代の労働問題などについて、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、多様化するキャリアの選択とキャリア形成の課題、資本主義社会における労働契約、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化と現代の労働問題などについて、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、多様化するキャリアの選択とキャリア形成の課題、資本主義社会における労働契約、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化と現代の労働問題などについて、主体的に追究する。	〈 指導事項 〉 ①働くことの意義と職業選択 ②働くということ ③多様な職業選択 ④労働者の権利と雇用・労働問題 ⑤労働者の権利 ⑥現代の雇用・労働問題  〈 教材 〉 教科書、公共ワークノート、プリント、タブレット	【知識・技能】 ・働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、多様化するキャリアの選択とキャリア形成の課題、資本主義社会における労働契約、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化と現代の労働問題などについて、理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、多様化するキャリアの選択とキャリア形成の課題、資本主義社会における労働契約、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化と現代の労働問題などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、多様化するキャリアの選択とキャリア形成の課題、資本主義社会における労働契約、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化と現代の労働問題などについて、主体的に追究している。	○	○	○	6
	定期考査				○	○	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
3 学 期	第2部 第5章 国際社会のなかで生きる私たち <b>【知識及び技能】</b> ・国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題について理解する。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題について、多面的・多角的に考察する。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題について、主体的に追究する。	<b>〈 指導事項 〉</b> ①国際社会のルールとしくみ ②国際社会の成り立ち ③国際連合の役割 ④国際社会と平和主義 ⑤日本の平和主義と冷戦 ⑥冷戦後の世界と日本 ⑦国際平和への課題 ⑧現代の紛争とその影響 ⑨平和な国際社会に向けて ⑩グローバル化する国際経済 ⑪貿易のしくみ ⑫国際金融のしくみと動向 ⑬グローバル化と今日の国際経済 ⑭国際経済の諸課題  <b>〈 教材 〉</b> 教科書、公共ワークノート、 プリント、タブレット	<b>【知識・技能】</b> ・国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題について、主体的に追究している。	○	○	○	14
	第3部 持続可能な社会づくりに参画するために <b>【知識及び技能】</b> ・課題解決に必要な事項を理解している。また、第1部・第2部で学習した知識と関連付けるとともに必要な資料を収集・整理し、必要な事項を抽出しまとめている。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・課題解決に向けて必要な資料や情報を収集・分析・考察・判断し、得られた結果や自らの主張を、論拠を明確にして説明や表現する。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・探究のための学習計画をふまえて、探究活動の進行を自らふり返り調整しながら、解決に向けて主体的に取り組む。	<b>〈 指導事項 〉</b> ①探究のイメージをつかもう ②探究プロセス  <b>〈 教材 〉</b> 教科書、公共ワークノート、 プリント、タブレット	<b>【知識・技能】</b> ・課題解決に必要な事項を理解している。また、第1部・第2部で学習した知識と関連付けている。 ・必要な資料を収集・整理し、必要な事項を抽出しまとめている。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・課題解決に向けて必要な資料や情報を収集し、分析したり考察したり判断したりしている。 ・得られた結果や自らの主張を、論拠を明確にして説明したり表現したりしている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・探究のための学習計画をふまえて、探究活動の進行を自らふり返り調整しながら、解決に向けて主体的に取り組んでいる。	○	○	○	2
	定期考査				○	○	

文京 高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 公民 科目 政治・経済

教科：公民 科目：政治・経済 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～ I組

使用教科書：(実教出版『詳述政治・経済』)

教科 公民 の目標： 社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

科目 政治・経済 の目標： 社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章 現代の国際政治 【知識及び技能】 ・国際社会の変遷、人権、国家主権、国際連合をはじめとする国際機構の役割、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代の国際政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。	○指導項目 ・国際政治の特質と国際法 ・国際連合と国際協力 ・現代国際政治の動向 ・核兵器と軍縮 ・国際紛争と難民 ○教材 教科書、資料集、授業プリント、一人一台端末	【知識及び技能】 ・国際社会の変遷、人権、国家主権、国際連合をはじめとする国際機構の役割、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代の国際政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現できている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1
第2章 現代の国際経済 【知識及び技能】 ・貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代の国際経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。	○指導項目 ・商品・資本の流れと国際収支 ・国際経済体制の変化 ・グローバル化と金融危機 ・地域経済統合と新興国の台頭 ・地球環境とエネルギー ・経済協力と人間開発の課題 ○教材 教科書、資料集、授業プリント、一人一台端末	【知識・技能】 ・貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・現代の国際経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現できる。	○	○	○	14
定期考査			○	○		1



文京 高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 公民 科目 政経演習

教科：公民 科目：政経演習 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～B組

使用教科書：(実教出版『詳述政治・経済』)

教科 公民 の目標：社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

科目 政経演習 の目標：社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第3章 経済社会の変容 【知識及び技能】 ・経済活動について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代日本の経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現のために、経済社会の変容とその課題について多面的・多角的に考察、構想させる。	○指導項目 ・経済社会の形成と変容 ・市場機構 ・現代の企業 ・国民所得と経済成長 ・金融のしくみ ○教材 教科書、資料集、ワークブック 一人一台端末	【知識・技能】 ・経済活動について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・現代日本の経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現のために、経済社会の変容とその課題について多面的・多角的に考察、構想したことを社会生活に生かそうとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1
第2章 現代の国際経済 【知識及び技能】 ・貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代の国際経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。	○指導項目 ・商品・資本の流れと国際収支 ・国際経済体制の変化 ・グローバル化と金融危機 ・地域経済統合と新興国の台頭 ・地球環境とエネルギー ・経済協力と人間開発の課題 ○教材 教科書、資料集、ワークブック 一人一台端末	【知識・技能】 ・貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・現代の国際経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現できる。	○	○	○	14
定期考査			○	○		1

